

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

岡山大学大学院自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務・企画部総務課

職名・氏名 専門職員・本^{ホン}城^{ジョウ}直^{ナオ}樹^キ

電話番号 086-251-7015

（夜間） 086-251-7015

F A X 086-251-7294

e-mail honjou-n@adm.okayama-u.ac.jp

目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	7
4	教員組織の状況	9
5	その他全般的事項	10

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

(2) 大学名

岡山大学

(3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻 (博士課程) 博士(理学) 又は 博士(学術)	5年	4人	20人	基礎となる学部名等 地球物質科学研究センター

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度					平均入学定員 超過率	備考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
A 入学定員	(-)人 4	(-)人 4	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -	0.88	平成21年10月 志願者数 4 受験者数 4 合格者数 3 入学者数 3
志願者数	(-)人 8	(-)人 0	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
受験者数	(-)人 8	(-)人 0	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
合格者数	(-)人 7	(-)人 0	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
B 入学者数	(-)人 7	(-)人 0	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
入学定員超過率 B/A	(-)人 1.75	(-)人 0	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度					備考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1年次	[3] 4	[3] 3	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次	[-] -	[2] 2	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
5年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[3] 4	[5] 5	[-] -	[-] -	[-] -	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [1] 2	計 [6] 7	[16.7 %] 26.6 %
	うち平成21年度入学者 2人	うち平成21年度 7人	
	(主な退学理由) 家庭の事情 他の教育機関への入学		
平成22年度	計 [0] 0	計 [6] 7	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 7人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
分析地球惑星化学講座	分析地球惑星化学ゼミナール	1~2通年	8			2	6 8			3	担当教員の職位変更 助教から准教授へ 平成21年3月学内教員審査済(21) H22.1.15実験地球惑星物理学講座教授退職による 担当教員の変更(22) カリキュラムの見直しによる講義科目の移動(分析地球惑星化学講座→実験地球惑星物理学講座)(22) カリキュラムの見直しによる講義科目の追加(22)
	分析地球惑星化学特別研究	1~2通年	10			2	6 8			3	
	分析地球惑星化学演習I	1通年	2			2	6 8			3	
	分析地球惑星化学演習II	2通年	2			2	6 8			3	
	分析地球惑星化学演習III	3通年	2			2	6 8			3	
	基礎分析地球惑星化学	1・2・3前期		2		1					
	安定同位体宇宙化学	1・2・3後期		2			1				
	ケミカルジオダイナミクス	1・2・3前期		2		1					
	地球惑星物質年代学	1・2・3後期		2			1				
	地球惑星起源物質化学	1・2・3前期		2			1				
	揮発性物質地球惑星化学	1・2・3前期		2			1				
	ナノスケール鉱物学	1・2・3後期		2			1				
	マントル地球化学	1・2・3後期		2			1				
	地球惑星地質学	1・2・3後期		2			1				
地球惑星物質進化解析学	1・2・3後期		2			1					

実験地球惑星物理学講座	実験地球惑星物理学ゼミナール	1~2通年	8			1 2	8 6			H22.1.15教授退職により H22年度から准教授2名が 担当(22)
	実験地球惑星物理学特別研究	1~2通年	10			1 2	8 6			
	実験地球惑星物理学演習I	1通年	2			1 2	8 6			
	実験地球惑星物理学演習II	2通年	2			1 2	8 6			
	実験地球惑星物理学演習III	3通年	2			1 2	8 6			
	超高压基礎実験科学	1・2・3前期	2				1			
	地球惑星物質物性論	1・2・3後期	2			1			H22.1.15教授退職による 講義科目の廃止(22)	
	地球惑星物質の状態方程式	1・2・3前期	2				1			
	レオロジー	1・2・3後期	2				1			
	放射光物質科学	1・2・3前期	2		1					
	地球惑星物質分光法	1・2・3後期	2				1			
	実験マグマ科学	1・2・3前期	2				1			
	揮発性物質地球惑星化学	1・2・3前期	2				1		カリキュラム見直しによる 講義科目の移動(分析 地球惑星化学講座→実験 地球惑星物理学講座) (22)	
	ナノスケール鉱物学	1・2・3後期	2				1			
高压流体物質物性学	1・2・3後期	2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
有機地球惑星科学講座 (連携講座)	有機地球惑星科学ゼミナール	1~2通年		8							
	有機地球惑星科学特別研究	1~2通年		10							
	有機地球惑星科学演習I	1通年		2							
	有機地球惑星科学演習II	2通年		2							
	有機地球惑星科学演習III	3通年		2							
	地球惑星有機物化学	1・2・3前期		2							
	地球惑星有機物解析学	1・2・3後期		2							
	メルト中の揮発性物質	1・2・3前期		2							
	アストロバイオロジー	1・2・3後期		2							

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	24	0	34	10	26	0	36	
				[-]	[2]	[-]	[2]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	地球惑星物質物性論	2	1・2・3後期	専門	選択	当該授業科目を担当する教授が急遽退職することとなったため, 科目の内容を見直し, 分析地球惑星化学講座から2科目を実験地球惑星物理学講座に移すことで当該科目内容をカバーする。実験地球物理学講座に移した2科目については分析地球惑星化学講座の学生も履修することができる。
2	(以下余白)					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記(4)の地球惑星物質物性論については, 予定していた授業科目の内容を揮発性物質地球惑星化学とナノスケール鉱物学の授業内容に加えて行う。また, それに併せて揮発性物質地球惑星化学とナノスケール鉱物学を実験地球物理学講座に移行し, 実験地球物理学講座の充実を図る。分析地球惑星化学講座にあっても実験地球物理学講座に移行した2科目について学生が履修することができることとする他, 教育課程の見直しを併せて行い, 新たに3科目を追加することにより教育体制の充実を図る。以上の措置により教育課程は担保できる。学生への周知については, 学生便覧の配布に併せて変更内容を示した文書を配布し, 周知を図っている。(22)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{34} = \boxed{0.03}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部					学士(文学)	1.06		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700	学士(学術)	1.06	平成16年度		
歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度より学生募集停止
言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度より学生募集停止
教育学部					学士(教育学)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1000	学士(学術)	1.05	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.01	昭和53年度		
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度		平成18年度より学生募集停止
法学部					学士(法学)	1.05		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.04	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.12	平成16年度		
法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
経済学部					学士(経済学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.11	平成16年度		
経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度より学生募集停止
理学部					学士(理学)	1.11		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.20	昭和24年度		
物理学科	4	35	—	140		1.12	昭和24年度		
化学科	4	30	—	120		1.12	昭和24年度		
生物学科	4	30	—	120		1.09	昭和24年度		
地球科学科	4	25	—	100		1.11	平成7年度		
			3年次20	40		1.02			
医学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	—	597	学士(医学)	1.00	昭和24年度		平成21年度から定員増 95→105 平成22年度から定員増 105→112
			3年次5	20	学士(保健学)	1.20			平成13年度から編入学の学生募集
			2年次5	5	学士(看護学)	1.00			平成22年度から編入学の学生募集
保健学科	4				学士(学術)				学生募集は平成11年度から
看護学専攻		80	—	320		1.03	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)
			3年次10	20		1.00			
放射線技術科学専攻		40	—	160		1.06	平成10年度		
			3年次5	10		0.90			
検査技術科学専攻		40	—	160		1.04	平成10年度		
			3年次5	10		0.70			

大学の名称	岡山大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
歯学部 歯学科	6	55	— 3年次5	330 20	学士(歯学)	1.01 1.01 1.00	昭和55年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
薬学部 薬学科 創薬科学科 総合薬学科	6 4 —	40 40 —	— — —	200 160 —	学士(薬学) 学士(創薬科学) 学士(学術)	1.06 1.06 1.04 —	平成18年度 平成18年度 平成11年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号 平成18年度より学生募集停止
工学部 機械工学科 物質応用化学科 電気電子工学科 情報工学科 生物機能工学科 システム工学科 通信ネットワーク工学科	4 4 4 4 4 4 4	80 60 60 60 80 80 40	— — — — — — —	320 240 240 240 320 320 160 60	学士(工学) 学士(学術)	1.08 1.08 1.07 1.14 1.02 1.04 1.09 1.12 1.05	昭和62年度 平成12年度 昭和62年度 昭和62年度 平成8年度 平成8年度 平成12年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号
環境理工学部 環境数理学科 環境デザイン工学科 環境管理工学科 環境物質工学科	4 4 4 4	20 50 40 40	— — — —	80 200 160 160	学士(環境理工学) 学士(学術)	1.10 1.15 1.15 1.06 1.06	平成6年度 平成6年度 平成6年度 平成6年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号 学生募集は平成7年度から
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学) 学士(学術)	1.10	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
14	4	18	0	16	1	17	0	
(17)	(1)	(18)	(0)	[2]	[Δ3]	[Δ1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 5月31日予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/johokoukai_j.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。